

# 清水小学校だより 14

令和5年8月29日

文責：藤芳 秀樹

教育目標 「いいね」で認めあい、支えあい、伸ばしあう学校

今日から2学期が始まりました。大きな事故もなく、今日元気に登校してきた子どもたち。夏休み中の家庭や地域の支えに感謝いたします。2学期は「勇気をもってチャレンジ、失敗に学ぶ」ことを頑張っていきます。

## 📍始業式ではこんなことを伝えました📍

めげせ、あいさつ日本一。みなさん、おはようございます。

長い夏休みの間、校長先生はみんなの元気な顔を見るのをずっと心待ちにしていました。朝からみなさんと久しぶりに会えて、**元気にあいさつできて、とっても嬉しいです。**

さて、7月の1学期終業式。もうかなり前のことに思えますが、校長先生は夏休みには「自然に親しむこと」と「自分で考えて行動すること」をがんばってほしいとお願いしました。みんなどうでしたか？ 今日、久しぶりに見た皆さんは少し大きく、たくましくなったように感じました。夏休み中大きな事故もありませんでした。**きっと自分で考えて行動し、いろんな経験をして心も体も成長してくれたのでしょう。**

そして、今日から2学期です。2学期はすこしやすい季節に変わっていき、修学旅行や見学旅行、学習発表会、縦割り班活動などイベントや勉強が一番充実した学期です。

そんな2学期も清水小は「**いいね！で認め合い、支え合い、伸ばしあう学校**」を目標に頑張っていきます。

認め合い、支え合い、伸ばし合うためにみんなで頑張っていることがあります。それは「**失敗を恐れずチャレンジを続ける**」そして「**失敗した友達がいっても、そのチャレンジにいいね！をあげる**」ということです。

校長先生はスポーツが好きです。夏休みはいろんなスポーツの大会を見ました。そこで「なかなか活躍できない、勝てない選手がずっとチャレンジし、頑張り続ける姿」をいっぱい見ました。

おとといのバスケットボールワールドカップもそうです。日本チームはこれまでの大会で一回も勝っていません。試合が始まると、途中では18点差で大負け。でも日本チームは最後まであきらめずにチャレンジ続けました。**だれも下を向かず、最後まで力の限りがんばりました。ある選手が失敗しても、周りの選手は、「挑戦したこと」を褒めていました。そして、助けていました。**試合の結果は逆転で日本チームの勝ち。校長先生は試合の途中から感動で涙が止まりませんでした。

学校は「できないことができるように」「わからないことがわかるように」勉強や活動をしていきます。だから最初はどううまくいかないことばかりのはずです。なかなかできないこと、失敗したことはずかしいとは思わないでください。当たり前です。それより挑戦したこと、がんばって見たことが素晴らしいんです。**失敗したら次はどうするかを考えてまた挑戦。**それを続けてほしいと思います。

友達が失敗したときも大切です。友達ががんばったのに笑うなんておかしいです。「チャレンジした友達を褒めましょう。やさしくアドバイスしましょう。」

失敗に学びながらみんなで伸ばし合ひましょう。

清水小の2学期は「失敗を恐れずにチャレンジを続ける」「失敗した友達がいっても、そのチャレンジにいいね！をあげる」ようにします。たくさんのチャレンジが見られる素晴らしい2学期になることを期待して、校長先生の話が終わります。

## 2学期を元気にスタート

29日は、地域の方々と一緒にあいさつ運動で子どもたちを迎えました。たくさんの荷物を抱えながらも、元気のいい挨拶をしてくれた子どもたち。

手さげからは自由研究がはみ出しています。話しかけると「ぼくは〇〇の研究をしたんだ。」「私は〇〇をしました。」と返ってきます。「がんばったね。」と言うと、どこか得意げにニッコリ。とてもよい笑顔です。他にも夏休みの思い出などをたくさん聞かせてくれました。



休み時間の校内は、久しぶりに友達と会えた喜びであふれていました。楽しそうに話し、遊ぶ姿。とてもいいものですね。

授業では、夏休みのふり返り、新学期の見通しや心構えなどが進められました。明日から本格的な学習が始まりますが、楽しみながら心や体の準備ができたようです。



## 子どもたちの安全を

8月25日に地域、PTA、ボランティアの方々による**サマーパトロール**がありました。5つのコースに分かれて校区の危険箇所をチェックしました。

別日には職員による**不審者対応訓練**を行い、警察の方からさすまの使い方等を習いました。安全な今後も校区づくりをみんなで進めていけたらと思います。

